おおふな

２０２６年１０月７日 No.１０
発行者：森田隼士　編　集：情宣部

ＪＲ東労組 大船支部

台風２５号で「レベル４　土砂災害危険警報・大雨危険警報」が発令され 川の増水で「出勤できないと申告」「動画でも報告」した組合員に対し 「出勤していないのはあなただけ」と言い放った管理者！

９月２１日、台風２５号が関東地方に接近し、千葉県や神奈川県で甚大な被害がもたされました。犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げ、被害にあわれた方々にお見舞いを申し上げます。

そのような中、横浜事業本部・大船乗務ベース（旧大船運輸区）において「レベル４　土砂災害危険警報・大雨危険警報」が発令され、川の増水で「出勤できないと申告」「動画でも報告」した組合員に対し「出勤していないのはあなただけ」と言い放った管理者がいました！

当日は、各報道機関でも「レベル４・避難指示」が出された地域に対し「命を守る行動を！」と再三再四、呼びかけていました。それにもかかわらず、出勤させようとする管理者は「社員の命」を何だと思っているのでしょうか！

おたけび

ＪＲ東労組 大船運輸区分会
発行 No.２
発行日 2026年10月5日
発行責任者 福田 敬三

社員の命＜出勤!?

日々の自然災害のなか安全安定輸送を担って頂いている皆さまに敬意を表します。また、先日発生した台風２５号で被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。千葉県内や神奈川県の三浦半島でも多くの被害が発生しています。当日出勤予定だった組合員と管理者との**信じがたいやり取り**を紹介します。

当該組合員の居住地では出勤時間の数時間前から「警戒レベル４」が発令されていました。出勤途中に雨風がさらに強くなり、身の危険を感じたため当直に連絡し自宅待機の了承を得ました。にも関わらず、とある管理者から電話にて「出勤していないのはあなただけ」「大船は雨が強くない」「家の近所の様子を動画で撮影してほしい」「追加で映像があれば上に通しやすい」といった出勤できない組合員を心配して連絡してきたとは全く感じられない発言がありました。仮に最寄り駅まで行ったとしても、その時点で鉄道は止まっており道路も通行止めなのでバスも使えない状況です。社員を路頭に迷わせることになります。もし言われた通りに動画を撮影しに行き、組合員の身に万が一のことがあったらいったい誰が責任を取るのでしょうか？

命の危機を脅かしてまで出勤させることは、**説明が出来ない一部管理者の自己保身**でしかありません。「どのような状況であれば出勤できない」といったような会社としてのガイドラインが定まっていないことも問題ですが、**職責がある立場の管理者が社員の命を軽く見ていることが一番の問題**です！

また、このような事象が発生しましたら分会執行部までお伝えください。

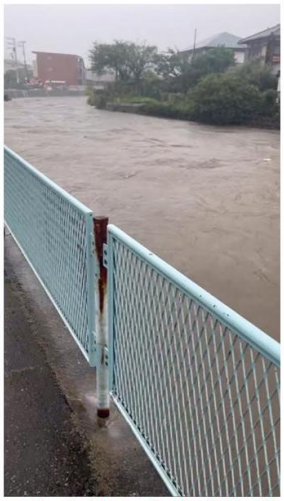
命を絶対の価値基軸に！
出来ないことには「出来ない」と訴えよう！

おたけび

ＪＲ東労組 大船運輸区分会
発行 No.３
発行日 2026年10月5日
発行責任者 福田 敬三

命を守る行動をとろう！





あなたはこのような状況でも出勤できますか？
ご家族を会社に出勤させますか？

命を最大の価値基軸に、会社に対して 堂々と「おかしい」と言っていこう！ 会社の共同正犯にならないため ＪＲ東労組に結集しよう！